

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	新緑会
議員名	早坂 博 羽立 秀光
調査実施年月日	平成27年11月18日(水)
調査先 自治体名等	京都府宇治市
調査項目	宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例について
調査目的	同条例の具体的及び成果等
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:186,782人 行政面積:67.54km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・条例制定までの経緯</li> <li>・市民の参画・協力における取組について</li> <li>・事業者の取組について</li> <li>・市の取組について</li> </ul>
感想(まとめ) 本市へ生かせること等	<p>宇治市は、古くからの水陸の要衝として開け、特に、平安時代には貴族の別業の地として栄えた。近年は、京阪神地区、特に京都市のベッドタウンとして発展した。</p> <p>宇治市は全国的にも有名な宇治茶の生産地であり、ブランド価値は一定の地位を築いているものの、近年の飲料の種類増加などにより、お茶をふるまう機会が減少していた。そのため、同市では、宇治茶の消費拡大や客人に宇治茶をふるまうことを通したおもてなしの心の醸成を目的に、「宇治茶の普及とおもてなしの心の醸成に関する条例」を平成26年10月に制定しました。</p> <p>市民の参画・協力における取組については、教育委員会の宇治学推進事業として、宇治茶スターターキットの配布や茶摘み体験などが行われています。</p> <p>事業者の取組については、茶の知識や淹れ方を競う「T-1グランプリ」というイベントの開催やふるさと納税制度で、商品の出品の協力があるとのこと。</p> <p>宇治市の取組としては、「宇治茶おもてなし事業」として、市主催の会議や来庁者へ新茶をふるまい、新茶の宇治茶に親しんでもらう取組を行っているとのこと。また、この他にも様々な事業を重層的に展開していました。</p> <p>本市においても、全国に誇れる産品が複数あるため、宇治市の様々な取り組みはとても参考になると感じました。</p>